

三木市のオオマルマメエンマムシの記録

沢田 和 宏

筆者は本誌第15巻第1号に、1986年9月に兵庫県で採集したエンマムシ類を報告したが、実は同時に採集したエンマムシに1種同定未了のため未報告のものがあつた。その後同じ種を本年3月にも三木市でまた採集した。

それらを調べたところ、兵庫県からは未記録と思われるオオマルマメエンマムシ *Gnathoncus nametensis* MARSEULであつたので分布記録として報告しておきたい。

10exs., 兵庫県三木市下石野, 27. IX. 1986; 1ex., 同所, 3. III. 1987

前者のうち9頭は養鶏場の鶏糞下より、1頭は牛糞下から採集したものであり、後者は同じ養鶏場の近くの畑の畦に捨てられていた野菜クズの下から見出したものである。

本種は鶏糞からは容易に発見出来るが、牛糞および野菜クズからの採集例は殆んど無いのではないかとと思われる。

ついでであるが兵庫県からは2例しか採集記録のない同属のマルマメエンマムシ *G. nanus* (SCRIBA) も鶏糞から時々採集されるので、養鶏場を精査すれば県内の新たな生息地が確認出来ると思われる。

姫路市でセマルケシマグソコガネを採集

沢田 和 宏

「SAIKAKU 第4号」(1987)に本会の高橋寿郎氏が「兵庫・神戸を原産地とする鯰角類について」と題して、兵庫・神戸産標本に基づいて新種記載された鯰角類25種を報告されている。

その中にセマルケシマグソコガネ *Psammodyus convexus* WATERHOUSE が採り上げられており、それによれば兵庫県からの採集記録は多くないとのことである。

筆者は次の通り姫路市で採集しているので記録しておきたい。

3 exs., 姫路市の形海岸, 26. IX. 1986

本種は一般に採集しにくいコガネムシとされているが、実際には海浜や河川敷の砂地の植物根際を探すと普通と言っても良い位に各所で採集出来る。

本種の食性に関する詳しい報告を筆者は知らないが、筆者の採集経験および文献上のデータなどから推測すると腐敗植物質を好んで食しているようである。

兵庫県の新産地についてであるが、高橋氏も述べられている様に、瀬戸内側の海岸はコンクリートですっかり固められているので新たな産地の発見はなかなか困難と思われるが、日本海側の海岸、さらに大きな川の川源の砂地を調べれば本種は容易に見られることと思う。

なお、ついでであるが川西市の隣りの大阪府池田市桃園で、1986年5月26日にケシマグソコガネを2種採集しているので参考資料として記録しておく。

セマルケシマグソコガネ 2 exs.

ホソケシマグソコガネ *Trichiorhyssemus asperulus* (WATERHOUSE) 1 ex.

2種共、猪名川川岸の砂の中から採集したが、兵庫県側にも自然生息しているはずである。

ヤマトアオドウガネの採集例

田 中 稔

ヤマトアオドウガネ *Anomala japonica* ARROWの、採集例を報告する。

1 exs., 西宮市鳴尾町上田, 26 VI 1962, 田中稔採集

1 exs., 津名郡東浦町浦, 13 VIII 1980, 田中稔採集

鳴尾町の個体は、夜勤作業中に工場内の明りに飛来したもの。東浦町の個体は妻の実家の室上で、ブラックライトに多くのアオドウガネと共に飛来したものである。

本種の同定は図鑑を見てもハッキリせず自信がなかったが、先日、中田隆昭氏が遊びに来られた時に、標本箱のアオドウガネの中より選別同定していただいた。本誌をお借りして、同氏にお礼を申し上げる。